

ご あ い さ つ

京都府高等学校体育連盟
両丹支部長 渡利 謙太郎
(京都府立峰山高等学校長)

平成25年度当初に京都府高体連両丹支部長および京都府高体連副会長の大役を拝命してから、早2年が過ぎようとしています。時間の経過とともに職責の重要性が想像以上であることをあらためて実感するところとなりました。何とか任を全うすることができましたのも、渡邊孝会長をはじめ本部事務局等多くの皆様の格別の御配慮御協力をいただいたおかげです。あらためて皆様に感謝申し上げます。

今年度も、両丹支部関係の事業につきましては、最大の行事であります両丹高等学校総合体育大会（全日制および定時制通信制）、両丹高等学校駅伝競走大会を無事成功裡に終えることができ、加えて年間を通して各専門部の大会や諸行事が両丹支部役員、各専門部の顧問、また各校の保健体育科の多大なる尽力によって活発に行われ無事に終了できました。厚く感謝申し上げます。

今年度は、近畿高等学校駅伝競走大会の京都府開催（開催地は京丹後市網野町）が2年目となり、昨年度同様両丹陸上競技専門部が準備や運営等に深く関わり、本番では近隣の多くの学校の生徒、先生方地域の方々の協力を得て、何とか無事に成功裡に終えることができました。昨年とは違うコースの検討・設定、「かにシーズン開幕」に重なり困難を極めた宿泊所の確保等々、多くの苦労があったことと思います。しかし地元開催ということで京都府の出場チーム枠が増え、地元の網野高校、宮津高校、綾部高校の各チームが男女ともに出場し、地元地域の熱い声援を受け、美しい自然あふれる地元丹後のコースを走り抜けたことは感動的でした。

さて、今年度も両丹地域の高校生の活躍は目覚ましいものがありました。まずは、アメリカ・マイアミで行われた世界ジュニア柔道選手権大会で京都共栄学園高校の梅北亘選手が55kg級で優勝したことです。両丹の選手が世界の舞台で大活躍したことは多くの人に勇気を与え、心から拍手を送りたいと思います。また第69回国民体育大会で久美浜高校の村野武広選手がカヌー200m少年男子K-1で優勝、また、全国選手権大会で加悦谷高校の糸井美奈未選手がウエイトリフティング75kg級スナッチで優勝、さらにビーチバレーのマドンナカップ女子ジュニア選手権大会で福知山成美高校の藪見真歩、坪内紫苑両選手が優勝し、多くの両丹の選手に夢と希望を与えてくれました。他にも、両丹の選手総勢143名が、15競技にわたって全国大会に出場し、活躍しました。

一方、夏の全国高校定時制通信制体育大会には、両丹から3競技（陸上競技・卓球・バドミントン）3校11名が出場しました。その中で陸上競技女子走高跳で網野高校の元井優徳選手が決勝に進出し7位に入賞し、京都代表としてしっかり戦ってくれました。

スポーツする選手は多くの達成感・感動等を自らが経験し、人間的にも大きく成長するでしょうが、一方で、応援する人に感動や勇気を与え、また、地元地域を元気にする役割を果たしています。来年度（27年度）は、全国高校総体（インターハイ）が近畿地区で行われ、そのうち6競技が京都府で開催されます。そして両丹地域では、舞鶴市でレスリング競技が、京丹後市久美浜町でカヌー競技が開催されます。高校生の全国規模のスポーツの祭典が身近な場所で行われることで、地域に新たな活気が生まれ、スポーツに参加したり関心を持つ小中高生が増えることを期待したいと思います。さらにその先2020年東京オリンピックを見据えて夢を抱き、夢をふくらませ、自己をさらに磨き、本当に夢を実現する選手が出てくることを楽しみに期待したいと思います。

結びに、来年度も京都府高体連両丹支部に対し、引き続き皆様から御理解御協力をいただきますことをお願いし、御挨拶とさせていただきます。